

オリジナル七宝の進め方（銀彩七宝による絵皿の場合）

- ① 図


- ② 版下(線描き)


- ③ 原版制作


- ④ 絵皿の形状に成形した銅素地に珪瑯を施し焼成する


- ⑤ ③の原版で純銀箔に模様をプレスする


- ⑥ この銀箔を④の工程で出来上がった素地に貼り付け焼成する


- ⑦ ⑥で出来た素地に七宝釉薬で着色、焼成。これを何度も繰り返す


- ⑧ 研磨、メッキを施し完成



全て職人の手作業により、この一連の作業は3～4週間を要します

記念品やギフトに
オリジナル別注デザイン承っております





— 七宝焼について —

七宝焼は、金属の上にガラス質の釉薬を焼き付けることで生まれる、光沢と色彩が織りなす芸術です。その起源は紀元前の古代エジプトにまで遡り、ヨーロッパを経てシルクロードを渡り日本へ伝わりました。悠久の歴史の中で洗練され続けたこの技法は、今では世界に誇る日本の伝統工芸として高く評価されています。私たちの工房では、ひとつひとつの作品に魂を込め、現代では稀少となった“手仕事による七宝焼”を守りながら、新たな美の可能性を追求しています。透明感のある艶やかな色合い、そして炎が生み出す唯一無二の表情。それは時を超えて輝きを放ち、手にする人の暮らしに静かな華やぎを添えるでしょう。

— The Art of Japanese Cloisonné “Shippo-yaki” —

Cloisonné enamel is a traditional craft in which a glassy glaze is fused onto a metal surface. Its origins can be traced back to ancient Egypt, long before our era. From there, the technique spread throughout Europe and eventually reached Japan via the Silk Road, carrying with it a long and rich history. Over the centuries, the craft has been refined to a high level of artistry, and today it is recognized worldwide as one of Japan’s distinguished traditional crafts. In our studio, we continue this legacy — creating pieces that balance tradition and modern sensibility, radiating a calm brilliance that enriches everyday life.